

アピールウォークで「集団的自衛権絶対反対！」「安倍首相は9条を守れ！」を訴える

講演終了後、集団的自衛権行使容認が閣議決定される直前の情勢でもあり、90人でJR芦屋駅までアピールウォークをして「集団的自衛権絶対反対！」「安倍首相は9条を守れ！」のプラカードを掲げ市民に訴えながらアピールウォークを行いました。

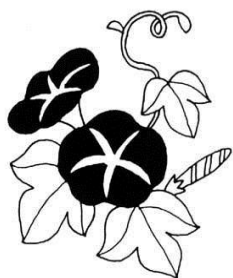


後日、2人の方からメールをいただきましたので紹介します。

- 西神ニュータウンの講演会も有りましたが、芦屋は、パレードがあるということで、芦屋に参加しました。今学習も大事ですが、外部に訴えることが、大事と思いましたので。
- デモがあったのが本当によかった。・・いづれにしても、いまの私に言えるのは、人間には一人々々、自由意思というものがある、ということです。芦屋九条の会も、そんな思いを共にできる、貴重な方々の集まりだと、思います。私も、静かな、そして激しい連帯の輪に加わらせて下さい。

最後に、世話人の1人からの感想を紹介します。

- 私自身が絵を描く者として身につまされた。22才で病死した画家村山槐多の「祈り」という詩。「後1日生きのびられたら、山も描ける」全くそう。病気のためろくな作品も残せず、馬齢を重ねた私も、夢の中ではひたすら絵を描き続けている。そんな夢をいつも見る。だから無言館の画学生達がどんなに描き続けたかったかわかる気がする。なぜ無言館と名付けられたのかも。それ自体が静かな戦争への怒り、平和への祈り。 <松田 妙子>



集団的自衛権の閣議決定に反対！日本は世界平和のイニシアティブを

去る7月1日、自衛隊発足60年の日に合わせて安倍政権は集団的自衛権の行使容認を閣議決定しました。これまで憲法9条のもとでは許されないとしてきた日本のあり方を大きく転換して海外での武力行使を可能にするものです。説明に使われた事例については「個別的自衛権の範囲」「現実性に乏しい」「解釈でいかようにもなる」と批判続出したのは記憶に新しいところでしょう。そもそもそのような重大な事柄を、閣議で決めるという法治国家の規範を大きく逸脱したものでした。昨年暮れの特定秘密保護法に続く、数を恃んだ暴挙です。

衆参両院のねじれの無い今でしょとばかりに軍事面(それは経済面でもある)で米国との一体化をすすめる現政権のやり方を許すわけにはいきません。一人ひとりの力は小さくても、機会あるごとに声を挙げ、選挙で意思表示をしましょう。

10代の若者が言いました。「日本は平和の先進国になってほしい」と。その願いに繋がる活動を続けていきたいものです。

「九条の会」が集団的自衛権反対の「請願署名」活動を開始しました。

芦屋「九条の会」でも、この活動に応えるべく署名用紙を8月号のニュースに同封しました。一人でも多くの署名をお願いします。

集約は芦屋「九条の会」で行い、東京に送ります。芦屋「九条の会」まで返送頂くか、9/28の映画会(同封のチラシ参照)に持参下さい。<問い合わせ先と返送先は片岡 隆まで(封筒の住所参照)>

~~~~~

芦屋「九条の会」は来年で10周年を迎えます。実行委員となって、企画・実施を一緒にしませんか。問い合わせと連絡先は上記と同じです。